

関東ケアリスト研修会レポート

5月6日(水)、品川区立総合区民会館にて、関東のケアリスト研修会を行いました。新人研修内容を中心に、新人ケアリスト24名、経験ケアリスト2名の計26名の弊社ケアリストが受講しました。

■10:00~11:50

ワーキングマザー最新事情(講師:上田理恵子)

保活、小1の壁、小4の壁など、ワーキングマザーを取り巻く最新事情や、お子様に接するときの大切なことなどを伝えました。

日頃のケア注意点(講師:丸岡八千)

現在よく起こっている経験ケアリストさんからの相談から、新人ケアリストさんへ知っておいていただきたいことをまとめてお話ししました。

■13:00~16:30

最新チャイルドケア・病児ケア研修(講師:小田文江)

チャイルドケア・病児ケア・伝染性疾患・熱性けいれんについて・心肺蘇生法・誤飲、そして遊び実践指導と、多岐にわたりますが、パワフルな講義でした。

マザーネット流家事の基本(講師:丸岡八千)

洗濯ものたたみ方、シンクの磨き方に加え、食器洗い機についての講義も行いました。下記にてご紹介いたします。

📣 ケアリストの声

・あらためてマザーネットの理念を確認しました。私達ケアリストが一番、ご利用者様のご様子を感じられ、寄り添えるのですから、お母様、ご家族の立場になって共感し、サポートさせていただきたいと思います。

・お子様の気持ちを受け入れ、何でもやってあげるのではなく「やってみよう」の声かけを心がけます

・大変楽しく、すぐ役立つことばかりでした。即、実践です！



いつも季節に合わせたお面を作ります！

食器洗い機の「上手な使い方」

食器洗い機の「上手な使い方」の手順は、次のとおりです。

● 食べ残しや汚れを取り除く

ほかの食器に汚れが移らないように、食べ残しは必ず捨ててから、食器洗い機に入れましょう。ゴマなどの細かいものは、サッと水で流してから入れます。また、油の固まりなどのひどい汚れは、紙やヘラでぬぐってから入れておくことで安心です。

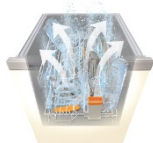
● 落としにくい汚れは「前処理」をする

手洗いでも落としにくいような汚れは、食器洗い機も苦手です。食器を入れる前に、「水洗い」や「つけおき」などの「前処理」をして汚れを落としやすくしておきましょう。

★前処理したい汚れ

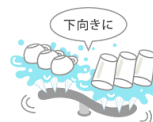
- ・グラタンなどの焦げつきや茶碗蒸しなどのこびりつき
- ・乾いて固まったご飯粒 ・鍋の焦げつき など

● 食器セットのコツ



食器洗い機はカゴの下にあるノズルが回転しながら、お湯を噴射して汚れを落とします。なので「その噴射が汚れ部分によく当たるようにセットする」のがコツ。

1. 噴射するお湯によく当たるよう、下向き
2. 重ならないように、順序よく
3. 汚れた面がよく洗えるように、内向きに



● 茶碗やお椀類



噴射がよく当たるように、斜め下向きに。完全に上向きや下向きにすると、汚れが落ちない上に糸底や食器内部に水が溜まってしまう場合もあります。

● お箸



汚れた部分に一番よく噴射が当たるように、箸立てに下向きに。かごの底からはみ出さないように、注意して。

● まな板



まな板は、汚れがひどい面を内側にして、横にセット。食器の上には置かないように。もしタンク上部に出ていると、水漏れなどの原因になります。

● スプーン・フォーク



細部まで噴射が行き渡るように、上向きにセット。

● 必ず食器洗い機専用の洗剤を使用

食器洗い機の専用洗剤は、手洗いで使う台所用洗剤とは成分が大きく異なります。必ず専用洗剤を使用しましょう。洗剤の使用量の目安を見て計量し、投入口に入れましょう。汚れが多い時は、標準量より少し多めに使うと良いでしょう。洗剤の投入口のない時は、排水口(残さいフィルターの下あたり)の近くでなければ、洗剤は食器洗い機の庫内のどこに入れても大丈夫です。



*ジェルタイプはキャップで計って



*粉タイプはスプーンで計って

※使用する洗剤に注意

前処理をする際に手洗いで使う台所用洗剤を使用した場合は、食器についた洗剤分をよくすすぎ落してから、食器洗い機に入れてください。

● 終了後は残さいフィルターを掃除

残さいフィルターは、使用後に毎回必ず外して掃除しましょう。汚れが乾いて落ちにくい場合は、ブラシやたわしなどでこすり落とします。洗わないと目詰まりして、食器の洗いが悪くなります。外した残さいフィルターを元通りにセットすることを忘れずに。

上田社長の講話の中で「ペットボトルのふたを開けて」と子どもに頼まれたときには、一つ一つの動作を分解しながら、じっくり見せてあげて、そのあと言葉で説明するとよいですよ、との言葉がありました。お子さまにとって何が一番大切なかを伝えていける研修会であるよう、これからも心がけていきたいです(丸岡)。